

令和7年度 第1回 守口市市民協働推進会議 兼 報告会 会議要録

令和7年10月2日（木）午前10時00分～

守口市役所 会議室 703

出席者

【委員】

久保由加里会長、田中逸郎副会長、平井良治委員、深田政好委員、東野邦子委員、内橋真吾委員、吉岡万里子委員、加藤淳一委員

【事務局】

コミュニティ推進課課長 山本、課長代理 西井、木村、一井

会議要録

【開会】

- 事務局あいさつ
- 出席委員の確認 出席委員8名（欠席委員：小出委員）
- 会長、副会長の選出

【議題1】「令和6年度実施事業報告会」

◆（報告1）

「東海道57次宿駅完成400年記念プロジェクト」：守口門真歴史街道推進協議会・生涯学習・スポーツ振興課

前任が長い間会長をやっておられて、その後を引き継いでまだ2年ですけども、この2年間に色々なことを経験させていただきました。その一つが、昨年の行事、第一部がウォーク。120人程申込みがありました。第二部午後からは、400年プロジェクトということで基調講演とパネルディスカッション。エナジーホールを使いまして、大体400人の会場で、定員300人を目標にして360人集まりました。当日の天候が雨だったので実際に来られたのは330人。今まで300人を超えることはありませんでしたので、枚方信用金庫さんの人脈すごいですね。

基調講演の志田先生は、東海道57次の本も出しておられますが、東海道57次の本はなかなか見ないんです。普通、53と書いて、4つだけ補足に遠慮気味に書くんです。この先生は、東海道は正しくは57だと言い切っています。その先生の基調講演もあって非常に盛り上がって終わりました。

もう少し概略を申し上げますと、この400年プロジェクトは、東海道57次の三重県にある庄野宿が最後にできて、それができたのは1624年。そこから400年足したら2024年。400年に当たるこれを機に、もう一度東海道は57だということ。最後は守口まで下がっているんです、三条大橋だけじゃないですということを徹底したいということでこのイベントを行いました。

あとは、この57次の会議をするに当たって、いつも枚方さんと守口は交流があるんですけども、今回は伏見の方も淀の方も来られて、何とかこれから一緒に合わせて57を盛り上げていこうということで、よかったと思っています。

今年もイベントをやりたいなということで作成したのがこのチラシです。このチラシは枚信さんによっていただきました。主催は枚方信用金庫さんです。協力は大阪シティ京阪百貨店、それから守口歴史街道推進協議会、守口商工会議所、日本フルハップというところが協賛になりまして、もう一度今ウォーキン

グを行います。

ウォーキングは、5月、6月実施分はもう終わりました。枚方では900名集まったらしいです。それでこの10月、11月、守口でやってくださいということでチラシも作ってもらいました。今募集をかけています。何とか300人を集めようとしています。10月16日に守口地点15人、寝屋川15人、1回30名を10回やります。

そういうことを積み重ねてやることによって守口のことを知らない人が多いんですけども、ぜひ分かっていただきたいなと思っています。

最後に、この「後世に伝えたい宿駅」の話を少しして終わりたいと思います。

その前に、このチラシに書いていますが、参加費が300円要ります。参加賞で、御宿場印カード「守口宿」を特典としてお渡ししています。計算だけで言うとこれも330円で売っています。

これは枚信さんが作っているんですが、その熱心さに非常に驚かされました。理事長がとても歴史が好きな方で、非常にありがたいなと思っています。

最後に、「守口の後世に伝えたい宿駅守口 5つの魅力」皆さんも守口に関わりのあるお仕事をされていると思いますが、守口って一体どんなところって言われたときになかなかぴんと出てこないと思うんです。私はこの5つが守口の自慢と思っていますので、参考までに聞いていただければと思います。

まず、1番目は、東海道57次終の宿場町でした。これを知らない人はとても多いんです。東海道って53やろと。京都で終わりという人がやっぱりいまだにおられます。

それと、文禄堤が今でも残っています。陸橋があって、あれは豊臣秀吉が造ったんです。それ言うだけでみんな感動します。えー、秀吉が造った堤ですか。あれ、昔は淀川の堤だったんです。当時の堤が残ってるのはもう守口だけで、他のところはもう全部移動したり、あるいは盛土を入れて大きくしたりして、当時のまま残ってるところはありません。それが2つ目です。

それから、3つ目は、大阪遷都が実現しませんでした。しかし、大阪遷都をお願いしたんですけれども認めてもらえなかったんで、大阪親征に変わるんですが、そのときに守口に一回泊まっています。守口に天皇が泊まっているんです。泊まって三種の神器は盛泉寺という隣のお寺にあって。だから、2つあるのがいつでも都になる資格があるわけですね。そういうことから、守口は1日帝都になりました。

それから、大塩の乱が守口に非常に関わりがあるということです。大塩の乱が350人ぐらい集まってあったんですが、当然幕府に鎮圧されて成功しませんでした。しかし、その乱があったことから、幕府の権威、支援を失墜して、その後倒幕へ加速していったと。倒幕がこの大塩の乱によって早くなったと言われています。

4番目、守口大根の守口漬けというのは、秀吉が命名したと言われてます。秀吉は、昔、この京街道ができるまでは守口から伏見に行く道はなかったんで、ここから大船に乗ることが多かった。帰りもここまで来て、ここから船を降りて。そのときに、守口の庄屋の源兵衛さんは守口漬けいかがですかと出したんですね。これを非常に気に入って、名前をつけた。守口漬けじゃということだね。私もびっくりしたのは、今愛知県が作ってるんですよね。愛知県の刈谷インターというところで、そこにほんと「守口漬け」と書いてあったんです。名前はいまだに全国版になっているということです。

それから、この役所のあたりは豊秀町や日吉町と命名されていますが、これ、豊臣秀吉ゆかりの地名です。豊臣秀吉を取って豊秀町。幼少の頃、日吉丸って言ったんですね。それを取って日吉町。こういう名前を守口の人がつけたんですね。ここは、昔は秀吉さんがよくここで船から降りて大阪城に向かったと。だから、豊秀町、日吉町にしようということで決めたんですね。そういう背後があります。

ということで、去年を足がかりにしてようやくこういうことが実現できましたので、今年も引き続き、守口57次を訴えていきたいなと思っています。

あと、当日の写真があります。文禄堤にこののぼりを置きまくりました。これを見て、来た人が、「ああ、そうやな。ここは宿場の中間だな。」とかね、それこそ分かるようにということで、これを今ずっと文禄堤

にずっとかけてます。

当日も、これは会議の写真。それから、受付ですね。これは枚信さんとうちが受付を分けて行いました。それから、基調講演のときのあれですね。ここにぐるっと、守口市長、伏見市長、それから理事長さん、全部私も含めましてここに出席しました。

この写真は午前中のウォーキングですね。非常にみんな楽しそうな、うれしそうな顔をしていますね。感想を聞いたら、皆さん、「うわ、すごいな、守口って歴史いっぱいやな」と。そんなふうにして、今度の枚信さんの秋のウォークですが、前回来た人がもう一回見たいと言って申し込んでいる人もおられます。そういうことで、やっぱりお伝えできれば理解していただけるのかなと思います。

ということで、私の説明は終わりにしたいと思います。

【質疑応答】

○委員 大変盛況で本当によかったですね。頑張られたお力だと思います。現在、守口門真歴史街道推進協議会、何人ぐらいでやっておられますか。

○プレゼンター 去年は、20名でしたが、7人入り、2人は辞めました。ですから、25名です。
今、25名の人もこの秋からの説明ができるように、4回コース、5回コースを増やしています。

○委員 勉強してるんですね。

○山本氏 何回か、五、六人の単位で、先生1人、先輩らを入れてみんなで、次、あなた、ここをどういう説明をしますかということでやってます。やっぱり我々が好きになってこの守口を勉強しないと、人に話せませんのでね。

○委員 いいですね。

○プレゼンター 毎月1回、定例会議をやるんですけども、その定例会議では必ずテーマを決めて、先生を我々の中で決めて、学習会をおこなっています。何とかそれを続けていきたいなと思っています。

○委員 分かりました。ありがとうございました。

○会長 お疲れさまでした。いつも熱心にやっておられて、頭が下がる思いです。今回、市と協働して枚信さんのお力があってとお話をお伺いしたんですけれども、守口市の市民協働の事業として実施されて、だからこそできた点とか、あるいはよかった点というのはございますでしょうか。

○プレゼンター 先ほども言いました6月30日の前から前触れがあったんです。志田先生が東海道は「57」が正しいということをもう一回やろうということで、それで1年前に前触れがありました。2023年の一番最初の品川宿と最後の守口宿、市長さん、区長さん呼びまして植樹祭をやったわけです。そういうことをやりましたから、志田先生から電話いただきまして、やっていきましょうと言われまして、これはせないかなということで、この事業を実施しました。エナジーホールを借りてやったのがよかったなと思っています。

よかった点は、やっぱり東海道57次ということをもた新たに知らしめることができたんじゃないかなと思っています。それと併せて、こういう「後世に伝えたい守口の歴史。」この資料、来た人に全部渡しています。これが実を結んでくるんじゃないかなと思っています。

○会長 ありがとうございました。

○委員 枚方が五六市をされているということを聞いたんですが、守口もそういうような考え方は持たれてるんですか。

○プレゼンター ありじゃないかなとは思ってますけど、具体的に名前では使ってないんですけどね。これはもうすばらしいですね。五六市って言ったら、みんな来た人も、「この五六市って何？」って質

問しますよね。「実はここは東海道56番目の宿場やったんですよ」と言って、もうそれだけで宣伝になります。

○委員　そうですね。

○プレゼンター　皆さん、知らないと思いますね。だから、認知度から言ったら守口はまだまだ10%いてないかもしれません。枚方は半分くらいあると思います。

○委員　そうですね。市民の方とか遠方から来られる人がたくさんいますね。

○プレゼンター　この間、日曜に行きましたが、土日は、ほとんどいっぱいですね。守口市も、桜通りの、スーパー玉出がなくなりましたよね。それがなくなってからしばらく朝市をやっていました。距離が短いからか、今はやってないようです。

あと、旧徳永邸の跡が「燈森」、新しい名前です。一回どういうふうにしたらいいか考えていきたいと思ってます。あそこで歴史を語るもよし、その辺の話をやっていきたいなと思っています。

○委員　せっかくここまで徐々にでも広がっているようなので、守口も盛り上がっていきたいですね。

○プレゼンター　このウォーキングも枚方は900人集まったんですね。守口は900名はやっぱり難しいです。でも、300円でも今までこういうのをうちが募集しても、集まっても50人くらいかと思っています。

○委員　守口市の方もサポートをお願いします。

【議題2】守口市公募型協働事業提案制度（令和7年度募集、令和8年度実施分）

第1次審査（書類審査）

「守口市公募型協働事業提案制度（令和7年度募集・令和8年度実施分）第1次審査（書類審査）」について審議を進めたいと思います。

今回5件の応募があり、1件ずつその内容を検討し、1次審査の採択・不採択を決定してまいりたいと思います。

審査に入ります前に、改めて審査・選考方法、評価のポイントについて説明してもらえますか。

○事務局　では改めまして審査・選考方法、評価のポイント等の確認をさせていただきます。募集要項には、第1次審査（書類審査）で提案された全ての事業について、提出書類による審査・選考を行う。第1次審査を通過した事業について、第2次審査（公開プレゼンテーション）を行ない、「提案の採用・不採用については、第1次審査と第2次審査の内容を総合的に審査し、決定します。」と記載しております。

また、審査項目としまして、公益性、継続性、協働性、先駆性・創造性、実現性の項目とそれぞれの評価のポイントを記載しております。

各委員には、提案資料と審査項目をもととする採点表をもって、計30点満点で採点いただき、その採点表も議論の一つの材料として、第1次審査における採否をお願いするものでございます。

なお、市民課題提言型については、提言者は個人であり、団体のプレゼンテーションの予定はありませんので、第1次審査にて採択、不採択を決定していただくこととなります。

以上でございます。

◇特定非営利活動法人京阪奈キャリア研究所「笑顔で『挨拶する街』もりぐち」

―――【検討・審査内容については非公開】―――

不採択

◇自由課題提案型MOA美術館守口児童作品展実行委員会、MOA美術館守口児童作品展

――【検討・審査内容については非公開】――

2 次審査へ

◇特定非営利活動法人ゆうかり「みんなで学ぶAIワークショップ」

――【検討・審査内容については非公開】――

不採択

◇市民課題提言型「キッチンカーで『働く体験』事業」

――【検討・審査内容については非公開】――

不採択

◇市民課題提言型「守口市民の政治の関心を高めて投票率 UP を目指そう大作戦」

――【検討・審査内容については非公開】――

不採択

○会長：ありがとうございました。これをもって今年度の協働事業に係る審査は終わりました。

最終結果としまして、今年度は5件の事業応募がありましたが、4件不採択、1件2次審査へ進むこととなりました。

ここからは、事務局から今後の流れと第2次審査の公開プレゼンテーションについて説明をお願いします。

○事務局：今後の流れといたしまして、第１次審査で不採用とされました団体に対しまして不採用の結果を通知をさせていただきます。また、事業候補として選定されました提案団体に対しましては、第２次審査（公開プレゼンテーション）への出席について通知するとともに、本日のご指摘内容等をもとに団体と関係課で事業細部について再度調整・協議をしていただきます。

そして、第2次審査として提案団体から事業内容のプレゼンテーションを受け、ヒアリングを行い、審査したのち、最終の事業の採択・不採択のご決定をいただきたいと思いますと考えております。

なお、プレゼンテーションの方法としては

- 1 各団体2名以内の出席
- 2 1団体のプレゼン時間はプレゼン15分、質疑15分の30分程度
- 3 必要であればプロジェクター等によるプレゼンも可と考えております。

なお、プレゼンテーションの公開に関しましては、日程が決まり次第、市ホームページ等で市民の方にお知らせする予定をいたしております。

以上でございます。

○会長：ただいま、事務局から今後の流れと第2次審査の公開プレゼンテーションについて説明がありましたが、これについて、何かご意見、ご質問はございませんか。

(なし)

○会長：今後の予定など、事務局から連絡事項があればお願いします。

○事務局：第2回の守口市市民協働推進会議 第2次審査 公開プレゼンテーションは、10月14日

を予定しております。ご多忙の中恐縮ですが、ご出席のほど、よろしくお願い致します。

○会長：ありがとうございます。本日の議題は以上です。本日の市民協働推進会議はこれにて閉会いたします。皆さま、本日はご多忙の中ありがとうございました。

【閉会】